



中国・蘭州に来て4カ月がたったころ、郊外のブドウ農家を訪れる機会がありました。

# 砂と暮らし 砂に学ぶ

ITP  
だより

22

## 乾燥地のブドウ栽培

蘭州郊外の大きな温室。北側の壁は煉瓦と土で作られており、南側はビニールで覆われ、冬季は防寒対策のため、すだれが掛けられる

温室内の様子。中ではブドウの稚樹と苗木が生育されている



車に乗り、市街地のビル群を抜け、民家も少なくなつてくると、うっすらと雪に覆われたはげ山が広がり、そこにたくさんの温室が現れました。農家の方々に案内されて中に入ると、温室いっぱいにつ

ドウの稚樹や苗木が植えられていました。農家の方の話によると、ブドウは乾燥に強く、降雨に弱いため、蘭州のような乾燥地帯で栽培するのに適しているとのこと。蘭州のある甘肅省や新疆ウイグル自治区がブドウの産地として有名です。

日本では若い世代の農業離れが進んでいます。蘭州では今、若者がブドウ栽培を親から継いで家業としているケースが多いそうです。

その理由は、収入にありません。例えばこの農家では、温室を1棟建てるのに約1万円(日本円でおおよそ15万円)かかったそうです。それに対し、売上高は1棟で最大約3万円(年間おおよそ45万円)にもなるそうです。これはかなりの収入です。

(鳥取大学大学院農学研究科学生・窪田慎一)

(水曜日に掲載)